

三河商人道

PART
128

柴田会計事務所
所長 柴田匡司 君



青年部は、人生そのもの。



青年部は「人生そのもの！！」と言い切る柴田匡司さん。大好きな仲間と共に成長してきた19年を振り返り、熱く、楽しく、お話を伺いました。

現在、梅園町で創業昭和45年の柴田会計事務所の所長として、スタッフと共に、スピード感を持って問題解決・お客様の立場に立ったベストなアドバイス・そして難しい事を簡単にわかりやすく説明する、この三つの基本方針のもと常に前向きに業務に取り組んでおられます。

入会のきっかけは、初代会長の日比谷泰三先輩に誘われ、JC（岡崎青年会議所）と岡崎YEG同時に入会されました。しかしながら両立が難しく、いつしかJCに偏りがちになり青年部とは疎遠に。平成16年度会長、永田龍寛さんの時からスタッフとして青年部活動を再開しはじめ、平成18年度会長、磯部亮次さんの時に副会長を務められましたが、しばらく青年部を離れていたこともあり、知らない方ばかりだったそうです。しかしそこからコミュニケーションを通し、人との繋がりをつくり、仲間と真夜中までとことん話し合い「困難を乗り越え」やっと青年部メンバーになれたと実感されたそうです。

平成20年度、岡崎商工会議所青年部が20周年を迎える年に会長に就任されました。新たなる一步を踏み出す年と位置付け三つの柱となる事業を構成されました。①20周年記念誌の作成 ②ジュニアエコノミーカレッジ ③20周年記念式典・講演会・OBの方とメンバー全員で周年のお祝い懇親会、この柱の事業はもちろん、中でも交流委員会による12月例会・YEG博覧会がとても印象に残っているそうです。「この時の例会には、今まで先輩方から受け継がれてきたものが生かされていて、忘れてはいけない大事なことを再認識できた例会だった」と熱く語られました。

全ての成功の要因は、「OBの方、親会の方との繋がりがあったからこそで、“OBは最大の協力者・親会は最大の理解者”であることから、現役メンバーはもっと繋がりを強くしてほしい。それが選択肢や可能性を拡げることでもあるので意識して繋げる事」と私達現役で残るメンバーへ温かいお言葉をいただきました。



落ち着いた佇まいの事務所



記念誌を手に思い出を語る柴田さん



取材スタッフと一緒に記念撮影



取材担当/
情報発信委員会
大井 教史・松島 努